



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月5日

上場会社名 三京化成株式会社 上場取引所 東  
コード番号 8138 URL <https://www.sankyokasei-corp.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川和夫  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 大槻一博 (TEL) 06-6271-1881  
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	19,653	△0.2	266	6.0	364	3.0	252	16.3
2023年3月期第3四半期	19,689	10.8	251	62.3	353	40.3	217	—

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 769百万円(148.8%) 2023年3月期第3四半期 309百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	189.59	—
2023年3月期第3四半期	162.98	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	18,098	9,960	55.0
2023年3月期	16,404	9,315	56.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 9,959百万円 2023年3月期 9,310百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	42.50	—	47.50	90.00
2024年3月期	—	45.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,500	△0.9	300	△11.8	410	△13.1	260	△14.4	194.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

詳細は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	1,560,000株	2023年3月期	1,560,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	226,124株	2023年3月期	225,887株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	1,333,978株	2023年3月期3Q	1,334,385株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、コロナ禍による活動規制からの本格的な緩和により緩やかな回復基調ながら、資源、原材料価格高の長期化ならびに物価高などの下押し圧力があり弱含みで推移しました。

このような状況の下、当社グループにおいては、原材料の高騰による価格改定は徐々に一段落してきた一方で、大幅な円安傾向により輸入品の一部が価格競争に見舞われる中で、国内外の新たな機能性商材の取引拡大に引き続き注力いたしました。

これらの結果、売上高は196億5千3百万円（前年同期比0.2%減）、営業利益は2億6千6百万円（前年同期比6.0%増）、経常利益は3億6千4百万円（前年同期比3.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億5千2百万円（前年同期比16.3%増）となりました。

事業セグメント別の概況は次のとおりであります。

#### [科学事業]

##### <土木・建材資材関連分野>

土木関連分野では、道路舗装用改質剤は増加しましたが、地盤改良及び環境負荷軽減セメント用ならびにコンクリート二次製品用の添加剤が減少し減収となりました。

建材資材関連分野では、建材ボード用薬剤が伸長しましたが、発泡断熱システム用輸入難燃剤や各種添加剤が低迷し減収となりました。

##### <情報・輸送機器関連分野>

情報関連分野では、半導体製造装置用材料や特殊インキ関連材料の伸長がありましたが、自動車部品関連材料ならびに電池関連材料が低調となり前年並みで推移しました。

輸送機器関連分野では、自動車部品用成形材料が回復せず減収となりました。

##### <日用品関連分野>

日用品関連分野では、清掃用品材料ならびに製靴用原料の伸長により増収となりました。

フィルム関連分野では、生鮮野菜、チルド食品及び冷凍食品用包装フィルムの販売が引続き伸長し増収となりました。

##### <化学工業関連分野>

繊維関連分野では、工業繊維用薬剤の減少により減収となりました。

化学工業関連分野では、水処理薬剤用原料及び機能フィルム用原料の減少があり減収となりました。

これらの結果、科学事業セグメントの売上高は159億6百万円（前年同期比1.8%減）、営業利益は3億3千2百万円（前年同期比4.0%減）となりました。

#### [建装材事業]

住宅用部材関連の需要持ち直しなどにより、造作部材、建具、キッチン関連が伸長し、成形用樹脂の新規採用もあり増収となりました。

これらの結果、建装材事業セグメントの売上高は37億4千7百万円（前年同期比7.2%増）、営業利益は1億5百万円（前年同期比80.6%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産の部

流動資産は前連結会計年度末に比べ、9億5千万円増加し、118億8千1百万円となりました。これは主に、現金及び預金が8億8千4百万円、電子記録債権が4億5千7百万円増加し、受取手形及び売掛金が4億3千3百万円減少したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ、7億4千2百万円増加し、62億1千6百万円となりました。これは主に、投資その他の資産が7億7千1百万円増加し、無形固定資産が1千9百万円、有形固定資産が9百万円減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ、16億9千3百万円増加し、180億9千8百万円となりました。

②負債の部

流動負債は前連結会計年度末に比べ、8億4千4百万円増加し、70億7千万円となりました。これは主に、買掛金が7億4千4百万円、電子記録債務が1億2千4百万円増加したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ、2億3百万円増加し、10億6千7百万円となりました。これは主に、その他に含まれる繰延税金負債が2億3百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ、10億4千8百万円増加し、81億3千7百万円となりました。

③純資産の部

純資産合計は前連結会計年度末に比べ、6億4千5百万円増加し、99億6千万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が4億6千8百万円、利益剰余金が1億2千9百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年11月6日に発表した通期の業績予想の数値を変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,591,297	2,475,368
受取手形及び売掛金	6,069,331	5,635,403
電子記録債権	2,088,109	2,545,249
有価証券	88,886	-
商品及び製品	889,003	959,804
仕掛品	27,727	33,130
原材料及び貯蔵品	66,928	64,465
その他	109,456	168,213
貸倒引当金	△79	-
流動資産合計	10,930,661	11,881,636
固定資産		
有形固定資産	1,812,507	1,802,866
無形固定資産	140,393	120,901
投資その他の資産		
投資有価証券	3,380,529	4,151,409
その他	141,094	141,794
貸倒引当金	△475	△475
投資その他の資産合計	3,521,148	4,292,728
固定資産合計	5,474,049	6,216,496
資産合計	16,404,710	18,098,132
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,052,111	4,796,849
電子記録債務	1,510,970	1,635,762
短期借入金	133,700	143,150
1年内返済予定の長期借入金	24,996	16,704
未払法人税等	114,143	56,594
賞与引当金	71,139	21,684
役員賞与引当金	17,805	16,350
その他	300,911	382,991
流動負債合計	6,225,777	7,070,085
固定負債		
長期借入金	10,455	-
役員退職慰労引当金	313,337	328,475
退職給付に係る負債	58,000	45,015
その他	481,368	693,661
固定負債合計	863,160	1,067,151
負債合計	7,088,937	8,137,237

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,716,600	1,716,600
資本剰余金	1,456,843	1,456,843
利益剰余金	5,494,166	5,623,671
自己株式	△459,992	△460,750
株主資本合計	8,207,617	8,336,364
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	974,951	1,443,353
土地再評価差額金	35,521	35,521
為替換算調整勘定	92,441	144,330
その他の包括利益累計額合計	1,102,914	1,623,206
非支配株主持分	5,241	1,323
純資産合計	9,315,773	9,960,894
負債純資産合計	16,404,710	18,098,132

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	19,689,984	19,653,523
売上原価	17,919,676	17,824,670
売上総利益	1,770,308	1,828,853
販売費及び一般管理費	1,518,524	1,561,948
営業利益	251,783	266,904
営業外収益		
受取利息	6,546	7,309
受取配当金	73,033	77,840
持分法による投資利益	6,075	786
仕入割引	1,934	1,680
その他	21,166	28,986
営業外収益合計	108,756	116,603
営業外費用		
支払利息	2,013	5,157
為替差損	1,812	167
支払保証料	-	9,518
その他	3,165	4,579
営業外費用合計	6,991	19,422
経常利益	353,549	364,085
特別利益		
固定資産売却益	7,414	1,257
投資有価証券売却益	-	27,963
特別利益合計	7,414	29,221
特別損失		
固定資産除却損	-	0
投資有価証券評価損	-	212
特別損失合計	-	212
税金等調整前四半期純利益	360,963	393,094
法人税、住民税及び事業税	148,556	144,385
法人税等合計	148,556	144,385
四半期純利益	212,407	248,708
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,076	△4,194
親会社株主に帰属する四半期純利益	217,483	252,902



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	212,407	248,708
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,986	468,402
為替換算調整勘定	69,519	46,443
持分法適用会社に対する持分相当額	7,342	5,722
その他の包括利益合計	96,848	520,567
四半期包括利益	309,255	769,276
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	313,138	773,194
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,882	△3,917

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	科学事業	建装材事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,194,944	3,495,040	19,689,984	—	19,689,984
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	16,194,944	3,495,040	19,689,984	—	19,689,984
セグメント利益	346,058	58,170	404,229	△152,445	251,783

(注) 1. 「調整額」の区分は、報告セグメントに帰属しない本社固有の費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	科学事業	建装材事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,906,341	3,747,181	19,653,523	—	19,653,523
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	15,906,341	3,747,181	19,653,523	—	19,653,523
セグメント利益	332,318	105,055	437,374	△170,469	266,904

(注) 1. 「調整額」の区分は、報告セグメントに帰属しない本社固有の費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。